



Abbott

報道関係者各位

News Release

アボット

アボット、Quadra Allure 両室ペースメーカー (CRT-P) で、MRI 対応の医療機器製造販売承認*を取得

Quadra Allure CRT-P で MRI スキャンによる全身診断が可能に

2017年2月23日 - アボットは、Quadra Allure 両室ペースメーカー (CRT-P) MRI 対応モデル (販売名: クアドラアルーア MRI、医療機器承認番号: 22800BZX00440000) に対する医療機器製造販売承認*を取得し、日本で販売すると発表しました。これにより Quadra Allure CRT-P を使用する患者様の様々な疾患に対し、最大強度 1.5 テスラ (磁場強度の測定値) の MRI スキャン装置による全身撮像を実施できることとなります。

「医師として、私は、将来必要が生じた時に安全に全身 MRI を受けることが出来る先進的な両室ペーシング技術を患者様に提供したいと考えています」とドイツのルール大学ボーフム心臓病・糖尿病センターの電気生理学部長であるゲオルグ・ノルカー教授は述べています。

MRI 対応 Quadra Allure CRT-P は、Quartet™ LV リードとともに使用するよう設計されており、4つの電極がペーシング極性に最大限の柔軟性を持たせ、心不全の管理を行います。この4極ペーシング技術は、心臓内の新たなペーシング極性を可能にし、以前の2極システムでは利用できなかった心不全を管理するための選択肢を提供しています。

4極ペーシングという技術の進歩がありますが、それでもなお、心臓再同期療法 (CRT) への反応が認められない患者様が居ることは今後も取り組んでいくべき臨床上の課題となります。

新しい MRI 対応 Quadra Allure CRT-P は、これまでご提供している CRT の機種と同様に、SyncAV™ CRT ソフトウェアにも対応しており、アボットの包括的な CRT ポートフォリオをさらに進化させます。

SyncAV™ CRT は、患者様の心臓のリアルタイムの状態変化に基づき自動的にペーシングを調整する技術ですが、医師がこの技術を再認識することにより、従来の CRT に対して有効な反応が認められた患者様の治療をさらに改善する機会を得ることができます。



* 医療機器製造販売承認は、アボットの 100%完全子会社であるセント・ジュード・メディカル株式会社が取得

心不全について

世界では約 **2,300** 万人がうっ血性心不全に罹患しており、毎年 **200** 万例が新たに診断されています。多くの試験で、心臓が弱って分量の血液を送り出す能力を失う進行性の疾患である心不全を有する多くの患者様の **QOL**（生活の質）が、**CRT** により改善する可能性があると示されています。**CRT** は、心機能を最適化するため、独自にプログラムされた電氣的刺激を送り、左右の心室を刺激して拍動を同期させることによって、両心室を再同期させます。

アボットの心不全に関する事業について

アボットは、**CardioMEMS™ HF システム***、画期的な **4 極技術**、欧州限定市場における **HeartMate 3™** 左心補助システム*、および市場初となる **MultiPoint™** ペーシング技術*など、革新的なソリューションを用いた心不全疾病管理のパイオニアです。アボットは、心不全の専門家、臨床医、アドボカシーパートナーと協力し、世界中の心不全の患者様の入院率を低下させ **QOL** を改善する、革新的で費用対効果の高いソリューションを含む包括的な製品ポートフォリオを提供します。

アボットについて

アボットは、健康の力を通して人々が最高の人生を送ることができるよう注力するグローバルヘルスケア企業です。**125** 年以上にわたり、栄養剤、診断薬・機器、医療機器およびブランドジェネリック医薬品分野で、人生のあらゆるステージにおいて、健康が持つ可能性を実現するため、新たな製品・技術を提供してまいりました。現在、世界 **150** カ国以上、約 **94,000** 人の社員が、人々が健康で長く充実した人生を送ることができるよう活動しています。

アボット (www.abbott.com)、アボットジャパン (www.abbott.co.jp)、フェイスブック (www.facebook.com/Abbott)、ツイッター ([@AbbottNews](https://twitter.com/AbbottNews) [@AbbottGlobal](https://twitter.com/AbbottGlobal)) も合わせてご参照ください。

*日本未承認